



レッツスポーツ!!

Let's Sports!!

第119号

平成29年3月1日
発行
一般財団法人 稚内市体育協会
会長 岡谷 繁勝
〒097-0027 稚内市富士見4丁目
稚内市総合体育館内
(一財)稚内市体育協会事務局
TEL28-1111/FAX28-1112
E-mail:taikyo@wakkanai-sports.or.jp
URL http://www.wakkanai-sports.or.jp

まずは! 楽しく!! 体を動かすとこころから始めよう

平成29年度市民対象別スポーツ教室

平成29年度 市民対象別スポーツ教室募集計画表

区分	会場	活動場所	時間	募集数	受講料
親子スポーツ教室	全域	緑体育館	午前10:30~11:30	30組	3,650円
ジュニアスポーツスクール	1・2年生	東南A	午後4:00~5:30	各30人	1,300円
		南B			
	潮見A				
	潮見B				
	北				
3・4年生	南	午後4:30~6:00			
	潮見				
	東				
5・6年生	北	市体育館			
	合同				

4月中旬から募集します

体育協会では、「いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも楽しめる豊かな生涯スポーツのまち・わっかない」をスローガンに「市民皆スポーツ」を目指す稚内市から受託する市民対象別スポーツ教室を開催しています。

母親と幼児を対象の「親子スポーツ教室」と、小学生を2学年別に行う「ジュニアスポーツスクール(通称:ジュニスポ)」があります。

スポーツアドバイザーとベテランの補助指導員による、ニュースポーツやスポーツゲームなどを通して、体を動かすことの楽しさを体験することから始めます。

親子のふれあいやコミュニケーションと、子どもたちの基礎体力や運動能力を養う場となるスポーツ教室(スクール)は、4月中旬から各小学校や、地元紙を通じて募集し、活動は5月から来年2月までの期間となります。多くの皆さんの受講をお待ちしています。

ママと一緒に、よーい・ドン!!!

いろいろな遊びやゲームから、走る・跳ぶ・投げるなどの運動を自然に身につけながら、親子のコミュニケーションを図ります。

さらに、同じ年代の子ども同士のふれあいや親同士の仲間づくりの場としてもおすすめです。



雪中レクの様子

おいでよ・ジュニスポ!!!

低学年(1・2年生)は、ゲームやニュースポーツを中心に体を動かすことや、友達と一緒に運動することを楽しいと思えるように導くことを心がけています。

中・高学年(3年生以上)以上は、いろいろな種目に挑戦します。体協加盟団体などから指導者を派遣していただき、アドバイザーや補助指導員ではできない専門的な指導をしてもらいます。

ただし、ジュニアスポーツスクールは、運動の苦手な子どもにも、スポーツの楽しさを体感することを目指しているため、スポーツ(種目)が上手になる目的ではありませんのでご理解願います。

ジュニアスポーツスクールが募集定員をオーバーし、やむなく抽選となる地域がありますが、体育協会と教育委員会では、希望する子どもたち全員が受講できるよう検討していますのでご理解願います。



タグラグビーの様子

平成28年度 友好都市スポーツ交流 真冬の最北端の思い出

稚内市の友好都市である沖縄県石垣市とのスポーツ交流事業は、12月25日から29日までの4泊5日の日程で、石垣市サッカースポーツ少年団の団員12名に引率や中学生リーダーを合わせて16名が稚内市を訪れました。

平成6年から続く歴史あるスポーツ交流は今年で22回を数え、両市の人と人の絆をつなぐ交流事業となっています。

石垣市交流団が稚内市に到着した日の両市の最高気温の差は28℃にもなり、日本の北と南の約2,800キロメートルを実感しました。

交流団はフットサルの交歓試合やスノーボード体験など様々な活動を通して団員たちは交流の絆を深めました。



フットサル交歓試合の選手宣誓の様子



スノーボード体験の様子

全国大会出場者紹介

スキー大回転で宮崎純奈さん(南中3年)が3年連続全国大会

アルペンスポーツ少年団の宮崎さんは、札幌市で開催された全道中体連大会に大回転と回転の2種目に出場し大回転では昨年に続き2年連続の優勝を狙っていたが、2秒42差で4位に入賞しました。回転では2本目にポールを通過することができず途中棄権となりました。

大回転は、昨年全国大会で優勝したことによる特例によって3年連続全国大会の出場権を手に入れました。

全国中体連スキー大会(アルペン競技)は2月3日から山形県赤倉温泉スキー場で開催され、女子GSL(大回転)に2連覇を懸けて出場しました。1本目は1分07・01秒で全体の1位のタイムを叩き出し昨年のチャンピンの滑りを見せたが、2本目1分08・19秒とタイムを落としてしまい、惜しくも2連覇はなりませんでしたが、4位入賞の好レースでありました。



「チーム稚内」が初めてシニアカーリング全国大会出場

昨年の12月24・25日に名寄市で開催されたシニアカーリング北海道予選会で道内の強豪10チームが出場し2ブロックに分かれ5チーム総当たり戦を行った結果、チーム稚内(選手名:富田伸司、國枝保幸、富澤俊彦、赤川峰樹、清水康彦)は3勝1敗で1位となり見事初めての全国大会への切符を手に入れました。

2月16日~19日名寄市で開催された第14回日本シニアカーリング選手権大会に北海道代表として出場しました。予選リーグ1勝3敗と健闘しましたが、予選敗退となりました。

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	EE	TOTAL
チーム稚内	2	0	0	1	1	2	0	2				8
TOKACHI	0	2	1	0	0	0	1	0				4

お知らせ 平成28年度 スポーツ指導者研修会 兼トレーニングセミナー開催

スポーツの指導者等が、スポーツ選手に必要な最高のパフォーマンスを継続して発揮するためのトレーニング方法や競技者の安全対策の知識・技能を習得し、指導者の育成と指導の資質向上を図ります。

1. 日 程 平成29年3月25日(土) 午前9時30分から
2. 会 場 稚内市総合体育館
3. 実技内容
 - ①部位別テーピングの方法
 - ②競技種目及び目的に応じたトレーニング方法
用具・器具を使用したトレーニング、ストレッチング
 講師 五十公野 修氏
(スポーツトレーナー、(有)イズミック代表取締役)

自然の家から主催事業のお知らせ

●わんぱくチャレンジ早春「わくわく自然塾」

期 日：3月25日(土)～26日(日)
場 所：稚内市少年自然の家
対 象：小学校4年生から5年生 20人
参加費：1,500円
内 容：課題学習、アイス作り、ダーツ、ニュースポーツ、畳コースター作り



※詳しくは学校から配られるチラシをご覧ください。

合宿の里わっかない

【成績】
8月に合宿を行っている白鷗大学、大阪学院大学、仙台大学、大東文化大学、札幌大学、関西学院大学の男子バスケットボール部が、第68回全日本大学バスケットボール選手権大会に出場し、白鷗大学が見事第3位に輝き、関西学院大学が第8位入賞となりました。



【実績】

- ◆札幌月寒高校野球部
平成29年1月9日～12日
3泊4日 31人(延べ宿泊93人)



【予定】

- ◆北海学園バトミントン部(男女)
平成29年3月7日～10日 3泊4日 18人(延べ宿泊54人)
- ◆千葉大学バスケットボール部(男女)
平成29年3月9日～14日 5泊6日 38人(延べ宿泊数190人)
- ◆日本女子体育大学バスケットボール部
平成29年3月16日～18日
2泊3日 101人(延べ宿泊数202人)
- ◆共栄大学女子バスケットボール部
平成29年3月20日～24日
4泊5日 35人(延べ宿泊数140人)
- ◆北海学園大学卓球部(男女)
平成29年3月23日～27日 4泊5日 18人(延べ宿泊数72人)



小さな掛け金・大きな補償 スポーツ安全保険

5人以上のスポーツ・文化・地域・ボランティア活動に適用される保険です。万が一の事故やケガに備えて、様々な活動をサポートする『スポーツ安全保険』に加入してスポーツを楽しみましょう。

保険の内容

- 対象事故：団体、グループ活動中や活動場所への往復中の事故
- 保険期間：平成29年4月1日 午前0時から平成30年3月31日 午後12時まで
- 加入手続き
 - ・加入依頼書は市内体育館施設窓口に備え付けています。
 - ・平成29年度(2017年度)専用以外の加入依頼書は使用できません。
 - ・指定銀行の北洋銀行で振り込む際の手数料は、規定料金となります。詳しくはお問い合わせください。
 - ※北洋銀行以外の金融機関で送金(振込み)される場合は、加入依頼書の「説明」を参照ください。

問い合わせ先 体育協会事務局へ

平成29年度加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金(1人当たり)	傷害保険				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (1日につき)	通院 (1日につき)		
子ども (中学生以下 特別支援学 校高等部の生 徒を含む。)	▶スポーツ活動 ▶文化活動・ボランティア活動・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は 1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	▶上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中・その往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同様	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、対人賠償は 1人1億500万円	葬祭費用 180万円
大人 (高校生以上)	▶スポーツ活動 ▶スポーツ活動の指導・審判	C 64歳以下 B 65歳以上	1,850円 1,200円	2,000万円 600万円	3,000万円 900万円	4,000円 1,800円	1,500円 1,000円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は 1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	▶文化活動・ボランティア活動・地域活動 ▶準備・片付け・応援・団体の送迎 ※スポーツ活動中の事故は対象となりません。 ※A2区分には65歳以上の方も加入できます。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故500万円	対象外
	▶危険度の高いスポーツ活動 (アメリカンフットボール、山岳登山など)	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円	対人・対物賠償 合算1事故500万円	※自動車事故によって賠償責任を負った場合は、補償の対象となりません。 葬祭費用 180万円

注1「平成29年4月1日」と「掛金の支払手続きを行う日」のいずれか遅い日の満年齢を基準とします。

■慎吾(しんご)
中学と高校ではバスケットをしていました。社会人になってからはスポーツをしていませんでしたが、娘がサッカー少年団に入ってから、サッカーやフットサルをするようになり、仲間と市民フットサル大会などに出場しています。今は、少年団の練習で子供たちとサッカーをするのが一番の楽しみです。

■妻・知美(ともみ)
中学では陸上部、高校はスキー部に所属していました。今は娘の友達のお母さんに誘われてミニバレーを始めました。娘の影響でファミリーフットサル大会に参加して、フットサルも楽しんでます。これからもケガをしない様にミニバレー、フットサルを楽しみたいと思います。

■長女・暢(のん)
友達に誘われて5歳から最北FCサッカー少年団に入団しました。最北FCは女の子が多いので、女子のチームで大会に出て活躍できるようにしたいです。得意のドリブルを活かして、男子にも負けない様に一生懸命練習を頑張っています。

■慎吾さんからのコメント
娘が始めたサッカーが縁で様々な人と出会うことができ、ファミリーフットサル大会に参加し、家族と一緒にサッカーやフットサルを楽しめることが嬉しく思っています。娘にはサッカーを通して人と人との繋がり大切さや、仲間を思いやる気持ちを持ち成長して欲しいと願っています。これからもサッカーを楽しんで続けていけるように応援していきたいと思っています。

われらスポーツ家族の輪



39 横山 慎吾さん一家

家族でスポーツに取り組み、楽しんでるスポーツ家族の輪をつないでまいります。今号では、前号の「西岡竜さん」から紹介のあった「横山慎吾さん一家」です。